

深谷通信所跡地利用基本計画(案)

について市民の皆様のご意見を募集します

旧深谷通信所は、昭和20年に通信施設用地として米軍に接收され、平成26年6月に返還された、円形形状が特徴的な直径約1km、面積約77haの広大な土地です。

これまでに横浜市が策定した「米軍施設返還跡地利用指針」や「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」、深谷通信所返還対策協議会をはじめ地元の皆様を中心に跡地利用に関していただいた様々なご意見やご要望を踏まえ、機能や施設の導入を検討してきました。

今回、旧深谷通信所の整備の具体化に向けて、跡地利用の基本方針を基本計画(案)としてまとめました。

平成29年 8月1日🔥から 平成29年 9月8日🟡まで
ご意見をお寄せください。

テーマ

緑でつながる魅力的な円形空間

- 市民が楽しみながら元気になれる「健康・スポーツの拠点」をつくります
- 「人と人」「過去と未来」をつなぎ、「人と自然」をそだてます
- 「人と地域」を災害からまもり、「緑豊かな環境」をまもります

配置図



周辺位置図



航空写真



施設概要 <所在地> 泉区和泉町・中田町 <面積> 約77ha(国有地100%) <地域地区等の指定> 市街化調整区域

跡地利用基本計画の考え方

計画検討の視点

旧深谷通信所の歴史

米軍施設が長期間にわたって存在してきた歴史を踏まえます。

地域の視点

深谷通信所返還対策協議会における議論、市民の皆様のご意見・ご要望をできる限り尊重し、地域の実情を踏まえた計画とします。

全市的・広域的な利用の視点

郊外部の活性化をはじめ超高齢社会、地球温暖化対策など、全市的・広域的な課題に対応できる機能や施設を導入します。

市の財政負担の軽減

本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政負担が少ない整備手法や施設計画、段階的な整備など、効果的・効率的な整備を行います。

計画の方向性

防災機能の確保

広域避難場所、広域応援活動拠点等の確保

地域の人がふれあう広々とした空間の創出

大規模オープンスペースを活用し、地域の交流やふれあいに供する場の創出

豊かな自然環境の創出

緑の拠点となる多様な自然環境の創出

市民の健康づくりへの寄与

軽い運動から本格的なスポーツまで、誰もがスポーツを楽しめる場の確保

全市的・広域的な課題への対応

郊外部の活性化、交通利便性向上、超高齢社会等への対応

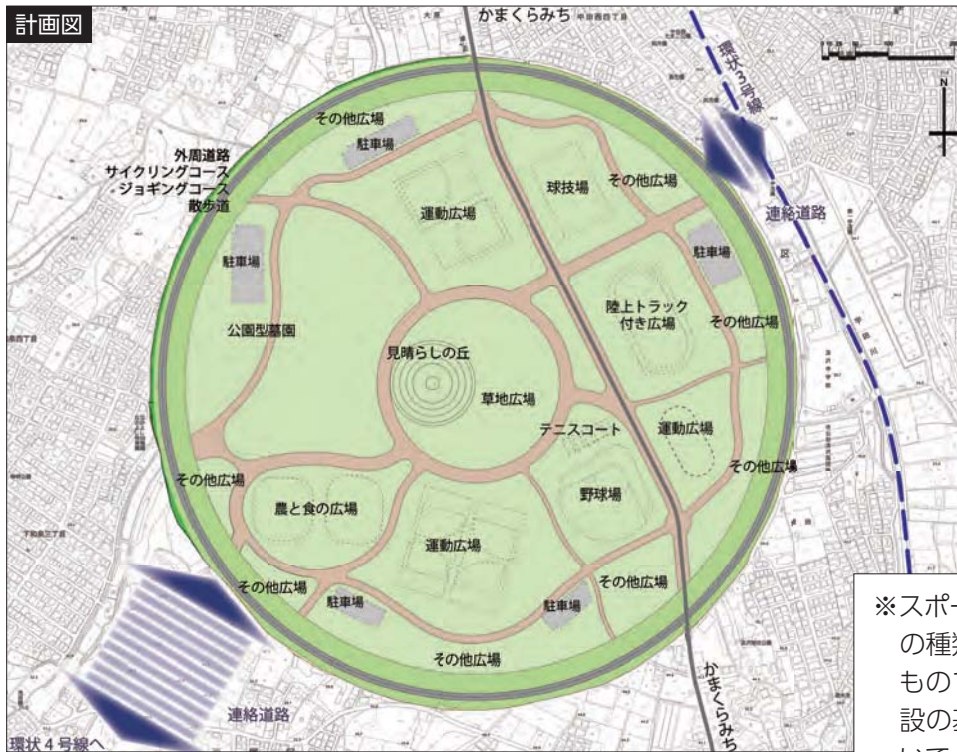
景観・環境への配慮

歴史の継承、富士山への眺望の確保、再生可能エネルギーの活用等

社会経済状況への配慮

財政負担の軽減、効率的で効果的な設備運営、社会的要請変化への柔軟な対応等

公共施設の整備 ～平常時～



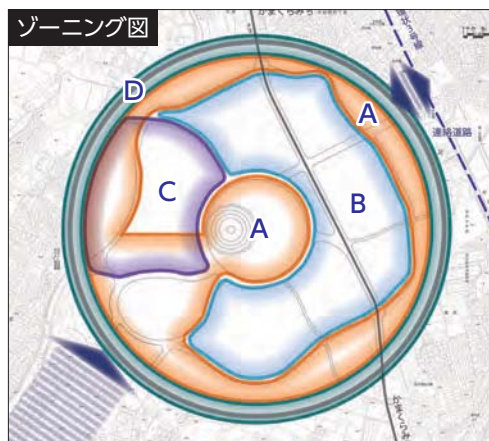
※スポーツ施設や駐車場等の種類・配置数は決定したものではなく、今後、各施設の基本計画や設計において、詳細を検討します。

配置の考え方・ゾーニング

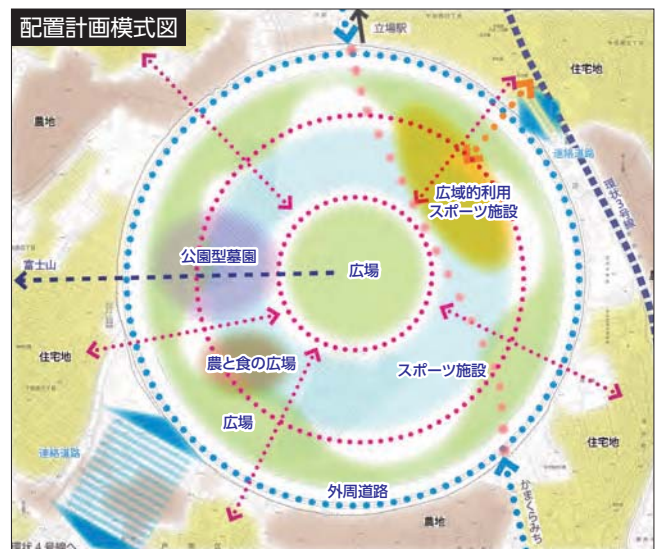
象徴的な広場を中心に利用者の動線が外周に向けて広がっていくようなイメージで施設を配置します。

中心の広場の外周にスポーツ施設と公園型墓園を配置、さらに外側には周辺住民が利用する広場、一番外側に車道や歩道に加え、健康づくりに寄与する外周道路を配置します。

配置の考え方を踏まえて、4つのゾーン区分を設定します。



- A** ふれあいとにぎわいの広場ゾーン
- B** スポーツパークゾーン
- C** 緑とやすらぎのメモリアルゾーン
- D** 外周道路ゾーン



- 日常利用空間:広場
- 目的性の高い施設:スポーツ施設等
- 広域の利用スポーツ施設
- 農と食の広場
- 公園型墓園
- 産業廃棄物処分場跡地
- ● ● かまくらみち
- ◆ ◆ ◆ 歩行者動線
- ◆ ◆ ◆ 主要な車両動線
- ◆ ◆ ◆ 広域の利用スポーツ施設メイン動線
- ◆ ◆ ◆ 景観軸

各施設の概要



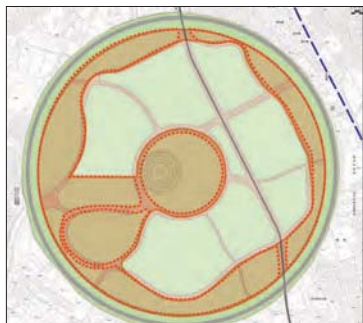
公園

<約50ha(約65%)>

A ふれあいとにぎわいの広場ゾーン

イメージ写真

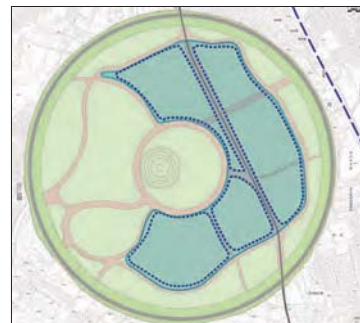
地域交流やイベント、運動、遊び、自然とのふれあいなど、様々な活動や体験のできる空間とします。また、アクセスしやすい外周道路寄りと象徴となる中央に、市民の交流やふれあいを図る広場を配置します。



B スポーツパークゾーン

イメージ写真

地域にゆかりのある野球やサッカーを中心に、スポーツや文化活動を通して多くの人々が交流する賑わいある空間とします。施設周辺には、将来的に拡張整備等に対応可能なスペースを確保します。



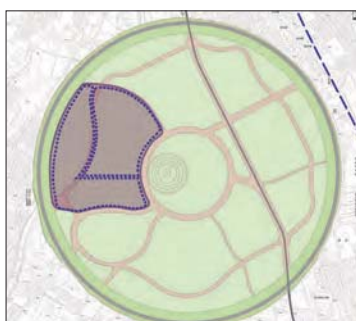
公園型墓園

<約12ha(約16%)>

C 緑とやすらぎのメモリアルゾーン

- 納骨施設等:約2.5ha
- 通路等:約2.5ha
- 緑地・駐車場等:約7ha

緑豊かな市営の公園型墓園とし、四季折々の草花や緑に囲まれた芝生型や合葬式の納骨施設を整備します。また、墓園内の園路や緑地などを開放し、散歩や憩いの場としても利用できる、公園と一体となった空間の形成を図ります。



イメージ図



芝生型

外周道路イメージ図



外周道路

<約15ha(約19%)>

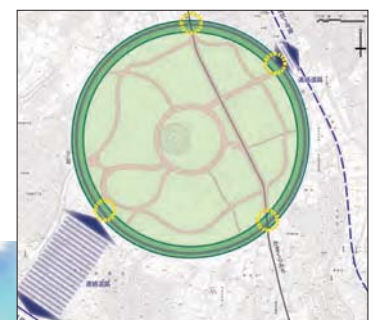
D 外周道路ゾーン

- 幅員:約50m
- 延長:約3km

車道や歩道機能に加え、緑豊かな空間の中でジョギング、サイクリング等を楽しめる、健康づくりにも寄与する幅員約50mの外周道路とします。

施設の整備状況を踏まえ、外周道路と環状3号線及び環状4号線との連絡道路は、施設と合わせて一体的に整備します。

かまくらみちや環状3号線及び環状4号線との連絡道路等との交差点に環状交差点(※P6参照)の導入を検討します。



環状交差点(ラウンドアバウト)検討位置

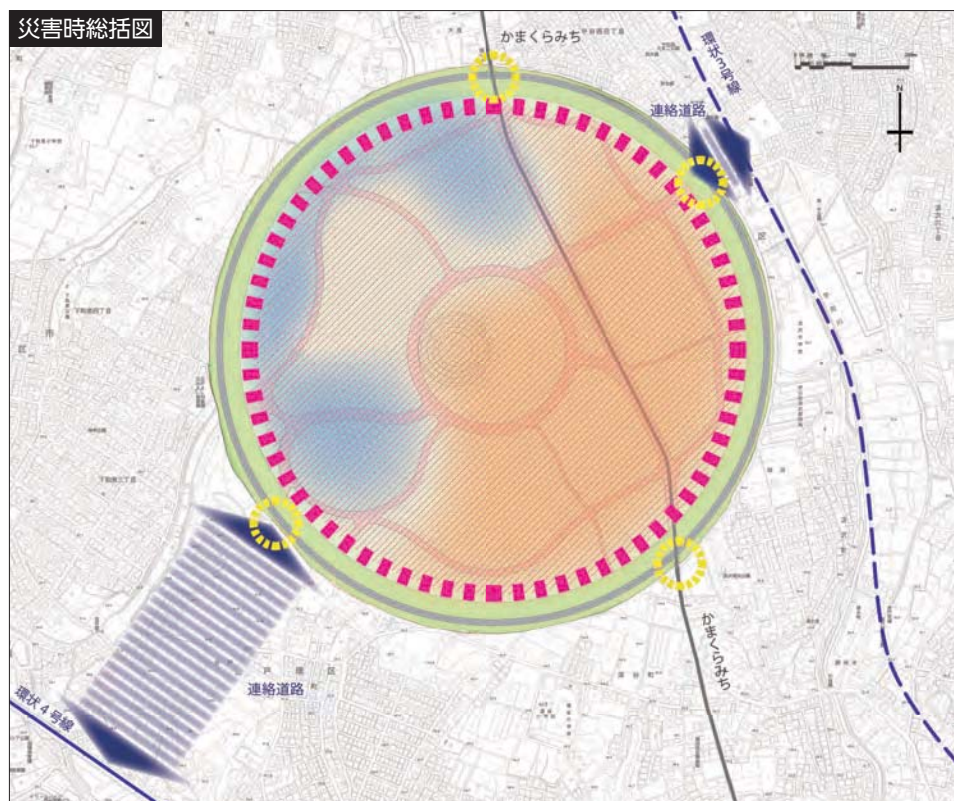


イメージ図

防災機能の確保 ～災害時～

次の考え方にに基づき、広大な敷地を活かして、広域かつ地域の防災性向上に貢献できる整備を図っていきます。また、災害時の課題への対応のために必要となる機能及び貯水槽・災害対応トイレ・備蓄倉庫等の防災施設については、周辺防災関連施設の役割を踏まえ、検討を行います。

- 広域避難場所の指定
- 発災時の活動拠点(広域応援活動拠点)としての活用
- 防災機能を備えた施設の整備
- 雨水浸水対策



※上記で示した機能・区域は災害時の活用方法の例です。
(市全体の防災対策への優先的活用など、実際の活用方法は発災の状況に応じて異なってきます。)

- | | | | | | |
|---|-------------------------|---|-------------------------------|--|------------------------|
|  | 広域避難場所
(発災直後:大規模火災時) |  | 広域応援活動拠点、その他
(応急対策、復旧復興段階) |  | 災害時地域利用エリア
(応急対策段階) |
|  | 環状交差点(ラウンドアバウト)
検討位置 | | | | |

災害時運用の例



01. 発災直後

- 広域避難場所として、大規模火災発生時に周辺住民の避難場所となります。
- 外周道路は延焼遮断帯の効果が期待できます。

発災直後平面図



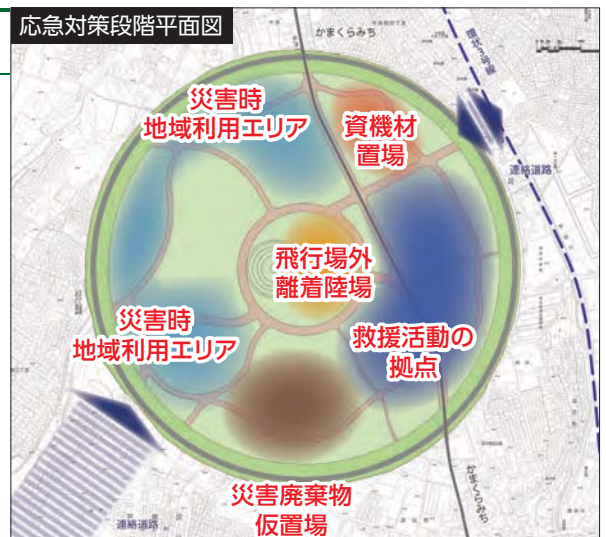
02. 応急対策段階

- 車両動線沿いに活動拠点等各機能を配置します。
- 構造物がない中央の草地広場を飛行場外離着陸場とします。
- 周辺環境に配慮して資機材置場、災害廃棄物仮置場を配置します。
- 地域の必要に応じて利用することができる場所を確保するよう検討を行います。



飛行場外離着陸場イメージ図

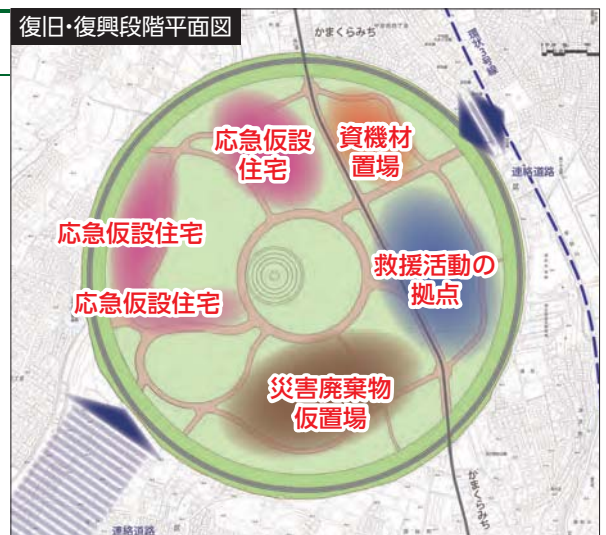
応急対策段階平面図



03. 復旧・復興段階

- 災害廃棄物仮置場から離れた位置を応急仮設住宅の建設用地とします。
- 瓦礫などの増加に対応して、災害廃棄物仮置場の区域を拡大します。
- 順次、利用可能な場所から公園利用を再開していきます。

復旧・復興段階平面図



※ 上記で示した機能・区域は災害時の活用方法の例です。
(市全体の防災対策への優先的活用など、実際の活用方法は発災の状況に応じて異なってきます。)

公園整備について

横浜市全体と比較して、泉区は、一人当たりの公園面積が全市平均4.91㎡のところ、2.37㎡(18区中17位)と小さく、都市公園の少ない地域となっています。

旧深谷通信所に50haの公園が整備される効果

<泉区の一人当たり公園面積>

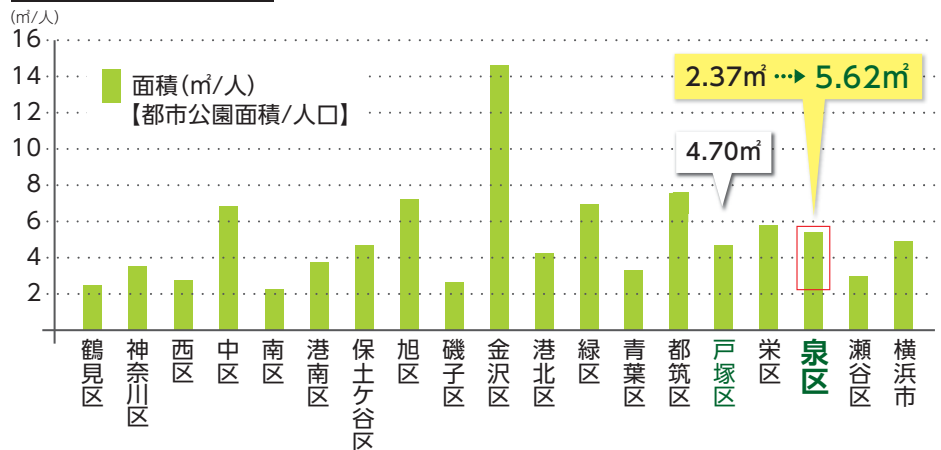
整備前 2.37㎡ (18区中17位)



整備後 5.62㎡ (18区中7位)

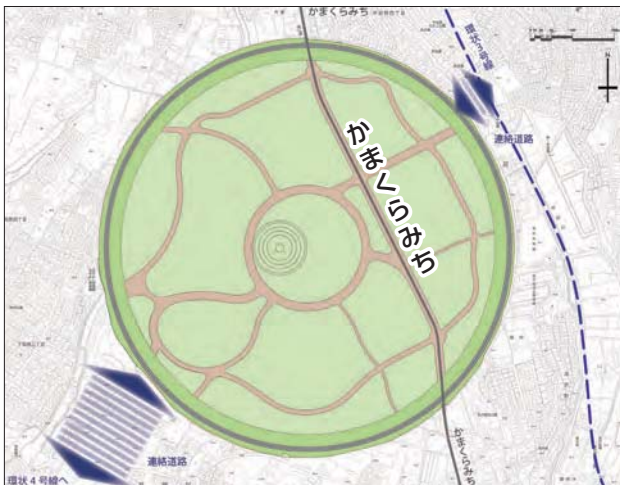
※一人当たり公園面積(H29.3.31 現在)
全市平均:4.91㎡

区別一人当たり公園面積



かまくらみちについて

各施設の配置は、旧深谷通信所を縦断するかまくらみちを利用しながら整備することを考慮し、かまくらみちを存置した計画とします。



環状交差点の特徴

環状交差点(ラウンドアバウト)は、信号交差点に比べて交差点への進入速度が抑制されるため、事故の減少が期待されます。

さらに、時計回りの一方通行であるため、正面衝突や右折対直進といった大きな事故が構造的に生じにくくなります。加えて、震災等の停電時でも運用可能です。



イメージ図

1～3 について、ご意見等をご記入ください。

- 1 跡地利用基本計画のテーマと考え方についてご意見がありましたらお書きください。
- 2 公共施設の整備や防災機能の確保についてご意見がありましたらお書きください。
- 3 その他、深谷通信所の跡地利用についてご意見がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※ご意見の提出期限は、平成29年9月8日(金)〈消印有効〉までとさせていただきます。

概算事業費・スケジュール



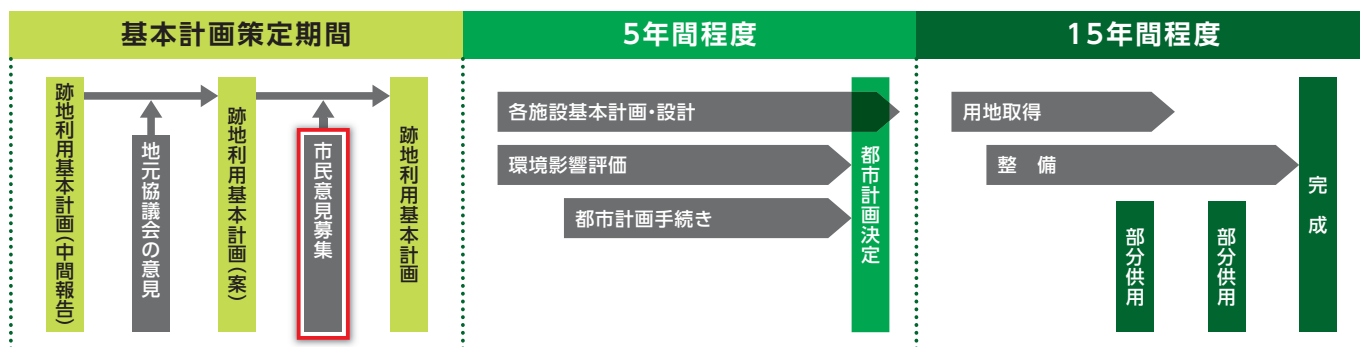
概算事業費

約400億円を想定しています

- ※ 事業費は現時点での試算です。各施設の詳細な設計を進めるなかで変更する可能性があります。
- ※ 公民連携や民間活力の導入の検討を行い、市費負担の削減等に努めます。



スケジュール



- ※ 都市計画決定及び環境影響評価については、対象となる施設のみになります。
- ※ 事業スケジュールについては引き続き精査していきます。

郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期限
平成29年9月30日まで
(切手不要)

2 3 1 8 7 9 0

0 1 7

横浜市中区港町1-1
横浜市政策局基地対策課 行



深谷通信所跡地利用基本計画(案)に対するご意見募集はがき

よろしければ、あなたの情報をご記入ください。

■お住まい

横浜市()区・市外

■年齢

20歳未満 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80歳以上

■性別

男 女

ご意見を募集します

深谷通信所跡地利用基本計画(案)《本編》は下記の
基地対策課ホームページでご覧いただけます。

▶応募方法

①ハガキ	切手不要 当日消印有効
②FAX	045-663-2318 基地対策課あて
③電子メール	ss-fukayaiken@city.yokohama.jp
④ホームページ	http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kichitaisaku/atochiriyou/atochi-fukaya.html

▶発行・お問い合わせ

横浜市 政策局 基地対策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL:045-671-2472 FAX:045-663-2318
e-mail:ss-fukayaiken@city.yokohama.jp

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kichitaisaku/>

【注意事項】

いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
なお、個々のご意見に対しての回答は致しませんので、あらかじめご了承下さい。
ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報
は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、ご
意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用
します。



作成年月 平成29年7月